

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/4/15(月)

出エジプト記11章

○エジプトの地の長子、家畜の初子に起こることとは？また、主は、イスラエルの民にも同じことをなさるだろうか(4-7)。
○ファラオの家臣達は何て言う？(8) 何故そのように発言するのだろうか。
○神様の脱出方法は、君が想像していたものと同じだったかな？違ったかな？

★みんなは将来(進路など)に悩むことはあるかな？今は数百km先が見えなくても、私達にはみことばという灯火がある。私達には遠くを照らすサーチライトはないけど、みことばという灯火を持っている、それは特権だよ。みことばという灯火を手にして一歩一歩進んで行くときに、違う景色が見えてくる。→今日も明日もみことばを聞き、深く考え続けよう。それが君を約束の地へ導いてくださる方のみこころを知る唯一の方法だ！(詩篇119:105)

2024/4/16(火)

出エジプト記12:1-14

●これまでの暦を捨てて、この月がイスラエル民族の一年の最初の月となった。毎年覚えられ祝われる出来事とするためだったんだね。教会ではどんなことを毎年お祝いしているだろうか？

●これまでのわざわいとは違い、神様はご自分の計画を事前に知らされた。エジプト中の長子が打たれる一方、神様は門に塗られた羊の血を見て、イスラエルの民を過ぎ越される(12,13)。

イエス様が「過越の子羊キリスト」と呼ばれる意味を静まって考えよう。イエス様の十字架はあなたとどんな関係があるだろうか？

2024/4/17(水)

出エジプト記12:15-36

●過越の祭り(種なしパンの祭り)をどのようにして守り行うかを神様が教えているね。特に、24-27節を読むと、次の世代に語り継いでいく重要性も覚えさせられる。みんなは福音をどのように心に刻んでいるだろうか？

●真夜中に神様が語られたとおりのことが起こった(29-)。そして、イスラエルがエジプトから銀や金を得て出ていったことも、すべて神様が語った通りのことだったよ。

神様のことばが永遠に真実であることは君にとってどんな意味があるかな？救いの確信を持って出ていこう！

2024/4/18(木)

出エジプト記12:37-51

●エジプトを出たイスラエルの民はどのくらいの数だっただろうか(37)？また、エジプトに滞在していた期間は何年だったと書いてある(40)？

●エジプトを出たイスラエルの民の中には、異国人も入り混じっていた(38)。彼らは割礼を受けることで主の民と一つになることができたよ。

神様は、イスラエルが神の民として一つとなることを意図されているね。教会もイエス様の十字架によって一つとされている。その恵みを覚えて、教会の仲間たちの祝福のために祈ろう！そして、まだ加えられていない友人や家族の救いのために祈ろう！

2024/4/19(金)

出エジプト記13章

今日は神様の民がエジプトの奴隷生活から救われた直後の記事だね。

●1-10vには最初の過越祭(後のイースター)が書かれているよ。神様は何のためにこの祭をするように言われたかな？8v

●17-22vまで読もう。神様は約束の地カナンへ導く時、海沿いの道(ペリシテ人の地)が近道なのにわざわざ遠回りをさせた。それはなぜ？17v

●面倒臭いな、やってる意味あるのかな、と思うことはあるかい？神様は僕らの弱さも知って導いてくださる。祈っても別の道が示されないなら、それは神様が導く遠回りかもしれない。そうであるなら、今できることにしっかり取り組もう。

2024/4/20(土)

出エジプト記14章

海が割れて、イスラエルの人々がエジプト軍から逃れる有名な箇所だったね。

最初追い詰められたと思ったイスラエルの人々は今までに受けた神様からの恵みも忘れて「なぜここに連れてきたのか」と騒いだ。それに対してモーセはキッパリと神様が戦われるから見るようにと語っているね。初めはリーダーにならないとさえ弱々しく言っていたモーセは、神様からの言葉と恵みを受けて、主に従う者へと変えられていた。そして神様が言った通り、普通ではありえないことを神様がしてくれて、イスラエルの人たちは逃げ切ることができたんだ。

みんながいる場所に神様がいて働いてくださることに信頼して、目を向けていこう！

2024/4/21(日)

出エジプト記15章

1~18節は、神様をほめたたえる賛美だよ！神様についてどんなことが歌われているのか、彼らが何を告白しているのかを思いながら、ぜひ声に出して読んでみよう。

20,21節では女預言者のミリアムが賛美をしているね。みんなはどんな時に神様を賛美したくなるかな？そしてみんなの日常生活の中で賛美はあるべきだろうか？

出エジプトから三日目、人々はモーセに不平を言っているね。人々の様子や、すぐに神様に祈ったモーセの姿から私たちが戒めるべきことは何だろうか？

お祈り：神様、あなたへの賛美を歌った舌で、すぐに人を呪うようなことがないように、どうかこの私をお守りください(ヤコブ3:9-10)。